

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜総合学園高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月2日(月) 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜総合学園高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	神谷 政人	(社) 中部地域づくり協会
副 会 長	熊田ますみ	平成医療短期大学教授
委 員	山岸 勇幸	須賀地区兼須賀東地区自治会長
	長屋 恭一	同窓会会長(欠席)
	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部教授
	渡邊 優子	P T A役員(副会長)
	山本由希子	P T A役員(副会長)
学校側	片岡 潤子	校長
	加藤めぐみ	事務部長
	古家 幸司	教頭
	黒井 昌和	教頭
	福井 恵梨	総合企画部長
	川口 智慎	教務主任
	大野 壮太	生徒指導主事
	柳瀬 智裕	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度 各分掌の方針・取組/教育指導の重点及び学校経営計画

意見1 学校周辺地域では、交通事故の危険場所、事故件数も多い。ヘルメットの着用を促してほしい。須賀公園駐車場を送迎に利用している生徒が多い。交通量も多く、夕方は特に混雑するので、安全に注意していただきたい。

⇒ ヘルメットの着用、自転車の並進走行などについて、交通安全委員による呼びかけなどを通して啓発していきたい。

意見2 大学進学者数が増えている。Sクラス、Gクラス、7限目などの授業を実施しており学校全体として学習習慣の定着の気運が高まっていると思われる。自ら考えて学習する生徒が育って来ているので、活動方針に従って教育活動を進めてほしい。

⇒ 部活動や系列などの様々な活動を通し、多様な経験ができており、進路実績につながっている。教員も、生徒の思いをサポートできている。

意見3 大学では、基礎学力の低下が見られる。特に、理数系の科目で入学後について行けなくなる学生がいる。高校ではどうか。

⇒ 高校でも同様の傾向は見られる。科目選択で、理数系を避ける傾向もある。数学では、

スタディサプリの活用により対策をしている。カリキュラムも検討したい。

意見4 インスタグラムは学校の様子がよくわかる。中学生も関心を持っている。

意見5 今の生徒たちは、小学校、中学校でコロナを経験している。授業では、底辺の生徒を引き上げられる環境ではなかった。給食も前を向いて黙食を求められるなど、コミュニケーションの排除が行われた。そのため、急にコミュニケーションをとることを求められても対応できない。このような状況を理解して、生徒に接していただきたい。

意見6 遠方から通学する生徒のために、天候による休校等の連絡の時間を早くしていただきたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の「教育指導の重点及び学校経営計画」について承認が得られた。

委員の皆様からは、本校の多彩な取組や今後の発展を期待するご意見や温かい励ましの言葉をいただいた。本会議をふまえて学校運営の改善を図り、総合学科の魅力を最大限に生かした岐阜総合学園高校ならではの教育を実践したい。